



2017年(平成29年)
11月15日
 第470号 (毎週水曜日発行)
 (株)高齢者住宅新聞社
 〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15
 ☎03-3543-6852(編集部)
 発行人 西岡一紀
 年間購読料 22,680円(送料込・税込)
 ホームページ
<http://koureisha-jutaku.com>

TOPICS

ニュース・総合 1~3面
 厚労省 医療経済実態調査
 病院経営、悪化の一途
 介護Biz 4~6面
 「I WAOモデル」実践へ

離職の原因、分析・解決

人材に関するトータルソリューションを提供するフェニックス(横浜市)は、離職の2大要因と言える職場の人間関係、介護と仕事の両立に対応する離職防止ソリューションの提供を10月から本格的に始めた。離職を止めるための科学的根拠に基づいたソリューションで、企業の人材喪失リスクを防止する。

社内制度構築も支援

厚生労働省の発表によれば、今年7月の全事業有効求人倍率は1.52倍、新規求人倍率は2.27倍、正社員のみ有効求人倍率も1.01倍となっており、雇用情勢は好調だが、新規求人倍率に

重の損失と言える。フェニックスは、離職者本人だけの責任とは言えない「職場の人間関係」「介護と仕事の両立」を原因とする離職を、科学的根拠に基づいたソリューションを活用し、防止する。

これは離職者数が止まらない、採用しても長続きしない、管理職のリーダーシップが弱い、トラブルが多発している、メンタル面に異常をきたす社員が増えている、といった法人向けだ。解決に向け

では、ヒューマンロジック研究所(東京都港区)の科学的根拠に基づいて個性を分析するツール「FIS理論」をベースに組織の問題・課題の本質を可視化する。

また、契約先の企業に対しては、人事担当者に対し様々な支援なども行いながら社内制度を構築し、社員向けの勉強会や座談会の開催なども定期的に行う。

新規採用が困難な状況で既存の人材を失うことは企業にとって大きな損失と

従業員に実施し、現状のチーム編成を定量的・論理的に分析し、チーム内の関係性を明らかにして最適な組織のあり方を提示。チーム内の個人に働きかけ、個々の変化を促すのではなく互いの関係性を最適なあり方に変化させることで職場における人間関係を改善する。

介護と仕事の両立については、年間10万人以上いるとされる家族介護のため離職を余儀なくされる労働者と、雇用主である企業を守るサービス。フェニックスとサービスを受ける企業が契約を結び、介護離職を考える従業員と介護に精通したフェニックスのスタッフが、個別面談を行う。

に、親など被介護者を訪問し状況確認を行い、最適なケアマネジャーを選定し、適切な介護サービスが受けられるよう手配する。フェニックスが連携する介護分野に精通した弁護士や社会保険労務士にも相談ができ、介護離職を考えていた労働者は安心して働き続けられるというものだ。